

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はにーびー		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い職員配置；国基準を上回る配置で安全性と個別対応人員を確保している	お子様1.7名に対し職員1名以上を配置し、送迎・外出時も複数名で対応するなど、安全性を最優先にした体制を整えています。	外部研修（強度行動障害支援者養成）やこども部会等へ研修会への参加、資格取得への会社補助などを実施して、職員のスキルの向上および知見の蓄積を進めてまいります。
2	多様な活動プログラム：外出・制作・食育・運動など飽きのこない支援を提供している	月ごとのプログラム会議を実施し、直接支援職員から案を募ることでマンネリ化を防止。外出・食育・制作など幅広い活動を展開している。	活動内容を体系化し、年間カリキュラムとして整理しております。活動のねらいを保護者様へ共有し、家庭との連携を強化していきたいと考えております。
3	保護者様との連携体制：日々の報告と相談対応が迅速で丁寧	送迎時の対話、HUGでの記録共有、LINEでの相談対応など、複数の手段で保護者様との情報共有を図っています。	支援記録のデータベース化を模索しており、可能であれば、お子様の成長記録が分かるような「成長レポート」を作れるようにしたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面の制約：建物構造上バリアフリー化が難しく、活動スペースに限りがある	施設が戸建て構造であり、1階・2階の移動や階段利用が必要となっております。活動内容によってはスペースが狭く感じられる場面があるかもしれません。	階段利用時の安全手順の徹底と職員配置の強化を行います。また、活動内容に応じた部屋の使い分けをさらに明確化し、危険の少ない動線を整備します。なお、必要に応じて施設の庭や外部施設（公園・公共施設）を活用し、活動の幅を広げたいと考えております。
2	情報共有の偏り：職員間の情報伝達が人的で、共有にムラが生じることがある	1階・2階に分かれた構造のため、口頭での伝達に依存しがちです。出勤シフト状況により情報が届きにくい職員が出ることが危惧されます。	HUGや共有ノートなど、記録ベースの情報共有を強化します。また、朝礼・昼礼での共有項目を職員参加のLINEに流し情報の展開を実施して、抜け漏れを防ぎたいと考えております。なお、重要事項は紙・電子の両方で掲示し、全員が確認できる仕組みを整えてまいります。
3	外部連携の拡大余地：医療・保健・児童館等との連携が限定的	学校との連携は一定あるが、医療機関・保健師・児童館・児童クラブ等との情報共有はまだ十分ではありません。	地域イベントや児童館活動への参加機会を増やし、自然な交流を促進してまいります。また、学校との連携については、保護者様からのご要望等を伺い、適宜、進めていきたいと考えております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービス はにーびー		2026年2月24日				5	5
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1	0	0	施設では、支援目的毎に部屋を変えております。それにより、一つの事に集中できる環境を整えております。今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	0	0	弊所では、ご利用になられるお子様の安全性を鑑み、お子様1.7名に対し、職員を1名以上配置出来るよう国の基準よりも多く配置しております。今後も、安全に支援ができるよう、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1	0	0	2階へ上がる階段がありますので、手すりを持ちながら、ゆっくり昇降する等の支援を継続していきたくと考えております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4	1	0	0	発達支援室は45を心掛け、今後も障害物になる物の収納等を継続していきたく思います。また、長休みみ前などにカーベットの清掃等も実施しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0	ご利用者様とお話をしながら、個性を尊重した支援を実施しております。今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0	保護者様やご利用者様からのニーズを傾聴し、個別支援計画を作成しております。今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	1	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	0	1	施設外での活動もインクルージョンを念頭に積極的に取り組んでおります。今後も継続しながら、支援を実施いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	1	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	0	2	保護者様からの個別のご相談には対応しておりますが、まだ、ペアレントトレーニングの実施までは至っておりません。今後、保護者様からのニーズを確認しながら、検討したいと考えております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	0	0	0	子供の健康状態にすぐに気づいてくれた。今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1	1	保護者様からの個別のご相談には対応しておりますが、まだ、保護者会の開催までは至っておりません。今後、保護者様からのニーズを確認しながら、検討したいと考えております。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0	その日の活動記録が写真付きですぐに見れるのがありがたい。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	1		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	1		弊所では、定期的な訓練を実施しております。ご意見を鑑み、保護者様へのより分かり易い発信を心掛けたいと考えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	アレルギーへの配慮が十分にされており、安心できている。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1	0	0		怪我や事故ならびに施設内で起こったお困りごと等は、迅速に各保護者様へお話しさせていただくよう心掛けております。今後も同様に対応していきたいと考えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	最初から泣かずに通所できている。	今後も、どうすればお子様が楽しく通所でき、将来の自立のための一助となれるのか？を模索しながら、ご利用者様へのご支援を行っていきたく考えております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	いつも「楽しかった！」と言って帰ってくる。	今後も、どうすればお子様が楽しく通所でき、将来の自立のための一助となれるのか？を模索しながら、ご利用者様へのご支援を行っていきたく考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		今後も、どうすればお子様が楽しく通所でき、将来の自立のための一助となれるのか？を模索しながら、ご利用者様へのご支援を行っていきたく考えております。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス はにーびー			公表日	2026年2月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	1	弊所では、支援目的毎に部屋を変えております。それにより、一つの事に集中できる環境を整えております。	子供達にさせたい活動とスペースが合っていない時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	0	弊所では、ご利用になられるお客様の安全性を鑑み、お客様1.7名に対し、職員を1名以上配置出来るよう国の基準よりも多く配置しております。	職員の配置が行き届いていると思います。他の事業所に比べて、子供に対しての職員の人数が多く、子供への支援が手厚いところがいい。職員の急な休みでも送迎など対応できる人数になっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2	2階へ上がる階段がありますので、手すりを持ちながら、ゆっくり昇降する等の支援を心掛けております。	バリアフリー化はできていないように思います。今後必要性に応じて検討していくとよいと思います。階段もあり、バリアフリーではない。階段の登り降りが難しい児童は利用が難しいように思える。仕方がないが長い階段がある。バリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	1	戸建て住宅を使用し、各ご家庭での過ごし方に焦点をあてた支援を行っております。各部屋は4Sを心掛け、快適に支援を受けられる様にしております。また、長期休み前などにカーベットの清掃等も実施しております。	掃除が行き届いていないと感じるところがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	1	支援に使用できる部屋が3部屋ありますので、適宜、適切な場所にて支援を行っております。	個別に対応できる部屋が足りないと思う時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	2	日々の支援やイベント等でお子様達のご様子、モニタリングを通じて、PDCAサイクルを回しながら、支援内容の充実化を図りたいと思います。	自分自身が目標設定と振り返りができていない。出勤していない職員への伝達がない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	保護者様のご意見・ニーズを踏まえ適切に支援内容を検討したいと考えております。	機会は設けているが、改善につなげているかわからない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	各職員から出てきた意見が利用者様の支援には、非常に重要だと考えておりますので、職員が意見を出せる環境づくりを心がけています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0	あかし療育図鑑様にご来訪頂き、外部評価に参画しております。なお、評価結果については、まだ出ておりません。	わからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	研修については、積極的に参加を促し、会社からの補助も行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0	支援プログラムについては、放課後等デイサービス はにーびーのホームページに掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	保護者様とのモニタリングには、必ず、直接支援を行う職員も立会い、お話をさせていただいております。その上で、個別支援計画を策定しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	個別支援計画を策定するために、直接支援にあっている職員から右記の資料を作成してもらい、計画に反映しております。	作成前に全職員に「日ごろの様子」「気になる事」「今後の対応」など記入してもらっている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	個別支援計画案が完成した段階で、各職員へ共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	標準化されたツールを使用しておりませんので、今後、取り入れていきたいと考えております。	わからない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	各項目の内容を踏まえながら、個別支援計画を作成しておりますが、今後も、さらに具体的な内容となるように計画内容の見直しを継続して行っていきたいと考えております。	いちパート職員にはわからない。伝えられていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	0	直接支援する職員にて、相談しながら、プログラムの立案を行っております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	0	直接支援する職員から、プログラムやイベント案を募り、マンネリ化しないように心掛けております。	職員が案を出し合っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	0	個別支援計画には、個別・集団活動の両内容を記載し、支援に取り組んでおります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	支援開始前には、朝礼や昼礼を行い、その日の活動内容等について職員間の展開を実施し、お子様を迎え入れる用意をしています。	細かな役割分担がない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	15	1	支援終了後は、送迎に入るため、大切な申し送りはなされていますが、(勤務時間の関係上)翌日の報告になる場合もございます。	パート職員にはわからない。気づいた点を伝えやすい環境である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0	日々の支援記録は、サービス提供記録に記載し、保管しております。	HUGのサービス提供記録とは別に療育記録を記入している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	保護者様とのモニタリングには、必ず、直接支援を行う職員も立会、お話をさせていただいております。その上で、個別支援計画を策定しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	会議には、児童発達支援管理責任者や直接支援を行う職員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	学校との連携は、ご相談等がありましたら、適宜実施しておりますが、地域の保健や医療機関との連携は、まだ行っておりません。	医療、福祉との連携をもっと増やしていくとより良い体制になると思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	支援を行っている児童が所属する園の先生とお話をさせて頂き、園での過ごし方や弊所での過ごし方等をお伝えし、相互の情報共有を心がけている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	保護者様を中心に、情報共有を行っています。学校の時間帯と弊所の開所時間が重なるため、三者合同での会議の開催は難しいのが現状です。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	まだ、連携を取っておりませんので、今後、連携を図っていきたく考えております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	5	地域の公園等で地域の他のこどもと交流する機会を設けおり、今後も続けたいと考えております。	公園に行った時に地域の子供たちと一緒に遊ぶことがある。他施設の子供たちと触れ合う交流が増えてくるとよいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	送迎時に保護者様とお話をさせていただき、情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	6	ペアレントトレーニング等は実施できておりません。	ご家族に対しての支援プログラムをしているところを見たことがない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	ご契約時に詳しく説明するように心掛けております。	わからない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	ご家庭の支援の一環として、適宜、お悩みごとに対して、面談等を実施し支援を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	9	保護者会、保護者同士の交流の場は、まだ、設けられておりません。保護者様各位とは、個々には交流を深める対応を行っております。	機会を設けているのを見たことがない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0	保護者様からの苦情やご連絡は、リアルタイムで各職員へ共有し、迅速かつ適切にご対応するよう心掛けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	イベント等は、各保護者様へ個別に情報をご提供しております。また、日々の支援内容等につきましては、Instagramでの展開や各保護者様への写真の送付などで発信しております。	SNSで発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	写真の送付時には、他のお子様の写真が写らない様に心掛け、Instagramへのアップには、同意を得たお子様のみ掲載（顔は隠す）しております。また、お子様の個人情報の書類は、外部への持ち出しは禁止し、留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	適宜、お子様の思った事や感じたことを傾聴し、意思への配慮を実施しております。また、各保護者様とは、LINEやお電話を通じた情報交換・共有を行う等実施しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	4	事業所の行事に地域の方を招待するなどは、実施しておりません。	行事に地域の方が来ているのを見たことがない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	0	各種マニュアルは作成し、計画的に訓練を実施しております。また、防災センターへの見学等、施設外での体験等も実施しております。	避難訓練などを行っている。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	1	BCPの策定を行い、研修とともに訓練も実施しております。また、非常食や避難用グッズ等も常備するようしております。	避難訓練などを行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17	0	現在、ご利用されるお子様に服薬等の措置が必要な方はいらっしゃいません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0	食物アレルギーをお持ちのお子様へのおやつや食育時には、事前に保護者様へ材料を確認して頂いています。また、食育時のエアゾル対策のために別部屋で過ごす、使用後の換気を徹底する等の対策を実施しています。	エビエンの使用方法の練習を行ったことがある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	0	安全計画は、放課後等デイサービス（はにーびー）のホームページに掲載しており、計画に基づいて、各種訓練や点検等を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	0	各種訓練については、取り組み内容等、保護者様と共有が図れております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	0	ヒヤリハット用の報告をファイルにまとめ、いつでも閲覧できる状態にしております。また、ヒヤリハットが発生した場合は、各職員へ情報展開を実施し、共有化を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	0	定期的に虐待防止研修等を開催し、虐待防止対策を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0	職員には定期的に身体拘束の研修を開催し、お子様への身体拘束を行う場合について、個別支援計画に記載しております。また、保護者様へは、同計画の説明時に身体拘束についてもお伝えしております。	わからない。